

「朝読書実施アンケート」の結果報告

1 目的

「板橋区子ども読書活動推進計画 2025」において、不読率の減少を目標に掲げており、具体的な取組の一つとして区立小・中学校全校、全学年、全クラスで朝読書を実施することとしています。

現状把握と改善策の検討を図り、今後の子どもの読書活動推進に活用する。

2 アンケート概要

令和5年9月依頼

回答期間：1か月程度

回答方法：WEB

回答数：小学校 330件 中学校 86件（学校の教員による）

3 アンケート集計結果

小学校 別紙1のとおり

中学校 別紙2のとおり

4 アンケート結果の主な概要

(1) 朝読書の実施状況について

【小学校】

実施している：74.2%

実施していない：25.8%

【中学校】

実施している：85.9%

実施していない：14.1%

(2) 実施時間（実施している学級のみ）

【小学校】

10分間：48.2%

15分間：39.2%

【中学校】

10分間：74%

15分間：23.3%

(3) 実施回数（実施している学級のみ）

【小学校】

週1日：54.4%

【中学校】

週3日以上：93.1%

(4) 実施していない理由

【小学校】「時間がない」が 60%以上。

【中学校】「時間がない」が 38.5%

「必要性を感じない」が約 30%。

＊いずれにおいても、「朝は登校時間や他の取組等があり、忙しいため、実施時間を朝に限定せず、時間帯を工夫することも検討して良いのではないか」との意見があった。(昼に実施しているという回答もあった。)

(5) 学校図書館の活用状況

- ・半数以上の学級が活用している。継続的に資料を充実させることが必要。
- ・一人一台端末を持っているので、学校図書館を必要としなくても済む状況となっているが、図書委員の活動等により、児童が自主的に利用したくなるような環境をつくることも課題である。

(6) 朝読書を実施するための工夫、アイデア

- ・学校教員以外の人材の活用についての回答が多くみられた。図書館司書、地域人材、ボランティアの活用、また、学級文庫の充実についても検討すべき課題である。
- ・一人一台所有している端末を活用した記録や読んだ本の共有等も子どもに興味を持たせる手段の一つとして面白いのではないか。
- ・読んだページ数で進む双六やワークシートの導入などゲーム的な要素を加える。
- ・時間の確保が難しいため、学校全体で取り組む必要がある。

5 担当

中央図書館 ボローニャ絵本係 6281 - 0560

朝読書実施アンケート 集計結果報告（小学校）

回答率 40% ※記述の回答は、原文のとおり記載しています。

1. 朝読書を実施していますか。

実施している ⇒ 74.2%

実施していない ⇒ 25.8%

2. 実施時間 （1の質問で「実施している」に回答した場合）

5 分間	10 分間	15 分間	20 分間
9 %	48.2%	39.2%	2.6%

その他 ・ 課題が終わったあとの隙間時間で実施

・ 8 分程度

3. 実施回数 （1の質問で「実施している」に回答した場合）

毎日	週 4 日	週 3 日	週 2 日	週 1 日
3.7%	4.1%	12.9%	14.1%	54.4%

その他（一部を抜粋）

- ・ 月に数回
- ・ 週 1 日以上で週によって変動する。
- ・ 読書週間、読書旬間期間中
- ・ 読書週間の時のみ。
- ・ 読み聞かせと読書を隔週で行っている。
- ・ 土曜公開授業の朝が、読書の日が多い
- ・ 月行事予定で朝読書に指定されている日（月 1 回～2 回）、朝学習が終わったら読書する指示を出している。
- ・ 不定期

4. 感想文について （1の質問で「実施している」に回答した場合）

書いている ⇒ 18.7%

書いていない ⇒ 76.3%

その他（一部を抜粋）

- ・ 全体指導後、夏休みの課題として取り組みたい児童が取り組んだ。
- ・ その都度は書かせていないが、9 月に読書感想文を提出するよう通達があるので書かせている。

- ・朝読書と関連した感想文は書いていないが…読書感想文コンクールには 2 年生以上は書くように指導はしている。
- ・夏休みの読書感想文のみ
- ・読書旬間後、本の紹介カードで感想文よりは短く POP のようなものを書く。
- ・春と秋の読書旬間にのみ、「おすすめの本の紹介」として書いている。
- ・1 学期に学級で書き方の指導をした後、夏休みの宿題で自由課題として書かせた。
- ・すごく心に残ったら書いている。
- ・全部の本ではないが、一言だけ感想を書くことがある。
- ・夏休みの課題の一つとなっており、参加する児童のみ書いている。
- ・読書の後に感想を書いている。

5. 読書時の先生の状況 (1 の質問で「実施している」に回答した場合)

一緒に読書している ⇒ 17.7%

読書していないが教室にいる ⇒ 75.9%

職員室にいる ⇒ 0.9%

その他 (一部を抜粋)

- ・一緒に読書している教員としていない教員に分かれる
- ・読むのが苦手な児童への支援
- ・基本的には読書をしています、その日の状況によって別の作業をしていることもあります。
- ・読み聞かせをしている。

6. 実施にあたり工夫または注意している点 (記述式回答)

主な回答 (一部を抜粋)

- ・地域図書館や学校図書館司書と連携し、学級に備える書籍を定期的に入れ替えている。
- ・オープンスペースの学年文庫の他に、教室にも担任おすすめの本を置くようにしている。
- ・読み聞かせボランティアによる読み聞かせをお願いしている回もある。
- ・読書に集中できる環境を整えている。
- ・短時間でも毎日取り組んでいます。
- ・活字を読むことに苦手意識をもっている児童が多い実態があるため、より多くの本に触れられるように、図書室への出入りを特に制限せずに実施している。
- ・地域の図書館から団体貸出しをして、読む本を用意している。
- ・紹介カードやビブリオバトルで個人で競ったり、チームで国盗り合戦としたりして全体で取り組めるようにしている。
- ・読書ノートを記録し、表彰している。
- ・児童が読みたくなるような本を、(学校にある学級文庫とは別に担任が) クラスに用意し、児童がいつでも読めるようにしている。
- ・読みたい本を家からもってきてよいことにしている。 等

7. 実施していない理由（1の質問で「実施している」に回答した場合）

時間がない ⇒ 63.9%

必要性を感じない ⇒ 7%

その他（一部を抜粋）

- ・他に取組むことがあるため（モジュール学習）
- ・朝ではなく昼に設定している。
- ・全学年は教育課程に組み込まれていない。低学年は実施している。
- ・週3回の朝読書の時間が設定されているが、登校時間が遅い児童は朝の準備をしてからあまり時間がない。
- ・課題をやり終えた児童のみ図書を実施し、全体指導はしていない。提出物を出さない子はまず課題をやらせているため。等

8. 学級文庫について

ある ⇒ 91.9%

ない ⇒ 8.1%

9. 学校図書館の活用状況について（複数回答可）

授業、朝読書で学校図書館を活用している（場所の利用） ⇒ 67.4%

授業、朝読書で学校図書館の資料を活用している ⇒ 52.9%

自主学習等において積極的な利用の指導をしている ⇒ 21.3%

その他（一部を抜粋）

- ・余剰時数削減により、高学年は「図書の時間」を確保することが難しい。また一人一台端末を活用しているので、調べ学習等で学校図書を活用することもほとんどない状況である。
- ・週に1回国語の授業で図書室へ行って本を借りている。
- ・週に1時間、本の貸し出し、返却、読書を行っている。
- ・休み時間等、空いている時間に自主的に読む児童がいる。

10. 朝読書は「板橋区子ども読書推進計画 2025」において、区立小・中学校全校、全学、全クラスで実施することとなっています。朝読書を実施するための工夫、アイデアがありましたら、以下にご記入ください。

主な回答（一部を抜粋）

- ・低学年のうちに読書週間が身につくよう、短い時間で多くの機会を設ける。
- ・図書館司書を各学校に配置し活動をしてもらい、学校教育全般で本に親しむ時間を多く作る必要がある。学校生活全般において図書館の利用があまり活発ではないと思うので朝読書だけに特化するのは厳しい。担任は業務が多く、担任だけで朝読書の効果的な解決は無理。
- ・廊下などに朝読書で読まれた図書の紹介コーナーをつくる。図書室にこれまで読み聞かせをしたPOPを地域ボランティアに作ってもらう。年間3回の読書月間と関連付けて、冊数や頁数など学年の実態に応じた目標を立てさせ、意欲的に取り組めるようにしている。

・学級文庫は用意しているが、充実していないので区で予算を作り、学級文庫の充実を図るとよいのではないかと。物理的に置く場所も用意してもらえると助かる。現学級の本棚は自分で設置した。

- ・学級文庫の充実、担任やボランティアによる読み聞かせ、読書の記録カードの活用
- ・読書ビンゴを行う。ビブリオバトルを板橋区で行う。
- ・読んだ本を交流する
- ・掲示の工夫 ポップ作り、おみくじ、読書ビンゴなど委員会での工夫
- ・地域人材の活用
- ・スタンプラリーなど朝読書をしたら、ハンコを押していくつかたまったら何か、小さな商品（しおりなど）を渡す。
- ・コロナ前では、生活時程の中に、朝読書の時間が全校で週1設定されていたので、確実に実施できていました。本校では、1万ページ読書、必読図書というのがあり、達成できた児童を表彰し、すすんで読書に親しめるようにしています。
- ・自分が興味のある分野やキャラクター、絵、作者でないと子どもは本を開こうとしない。まずは家から読みたいと思う本を持ってきて読んでもよいということを声掛けする。子どもは、本に集中して読めたら達成感を感じる。子ども同士でおもしろい本を紹介し合って、それを学校図書館司書に伝え、来年度の本を購入する際の参考にしていく。
- ・図書館司書や図書ボランティアによる読み聞かせを計画する。読書旬間において読書カードやしおりを配付するなど意欲を高める工夫をする。先生方のおすすめ本を紹介する。などを行っている。
- ・学級文庫が定期的に新しい本が入れ替わったりするとよいと思う。
- ・読んだ本をクロームブックのアプリか何かで記録をして読む意欲を高める。
- ・図書委員や保護者による読み聞かせはどちらにも効果があると思います。
- ・本校は、給食後に10分間の昼読書を実施しています。

11. その他、朝読書についてのご意見がある場合は以下にご記入ください。

主な回答（一部を抜粋）

- ・強制して取り組ませることにあまり意味を感じません。本当に朝読書をする必要があるのでしょうか。
- ・各地区担当図書館の方のご来校（読書指導参加）をお待ちしております。
- ・環境の充実を図ってください。
- ・朝学習では読書してはいけないとのことなので、週1回朝学活の時間を確保し、朝読書を習慣化させて欲しいです。
- ・読書嫌いの子たちにとっては一人一台端末がさらに読書離れの追い風になってしまったと感じます。
- ・朝読書は、児童が落ち着いて1時間目を迎えることができるのでとてもよい。
- ・様々な児童がいるのでそれに対応できるような本を取り揃えておくこと、教員側の知識が必要なのだと思います。
- ・学級文庫も手に取ってくれるが、家から持ってきた本を好んで読み、集中して読めている。

読書は強制して読めるものではないが、楽しく読める絵本などでも読書と認めてあげることが大事だと思う。

- ・朝落ち着いた時間を過ごすのに朝読書は有効と思われるが、朝の時間にやることが決まっているため難しい。

- ・朝読むことで、学級全体が落ち着いた時間を過ごすことができる。

- ・朝読書の意義を伝えてほしい。意義が感じられず、他のことに時間を使っている先生も多いのではないか。

- ・本校は、時程の関係上朝読書の時間が確保できません。そこで週に1回、昼の時間帯に読書の時間を設定しています。

- ・朝学習の時間が限られていて、その中で、やるようにと言われていることが多すぎる。児童のためにやるべきこと、やらなければならないことをしっかりと精査してから広めてほしい。

- ・やはり時間の確保が難しいため、学校全体で取り組む必要がある。しかし、学校では朝の時間にやるべきことも多いので、読書時間を朝に限定せずに1日のうちで確保できるように考えていかなければならないと思う。

朝読書実施アンケート 集計結果報告（中学校）

回答率 30% ※記述の回答は、原文のとおり記載しています。

1. 朝読書を実施していますか。

実施している ⇒ 85.9%

実施していない ⇒ 14.1%

2. 実施時間 （1の質問で「実施している」に回答した場合）

5 分間	10 分間	15 分間
1.4%	74%	23.3%

その他 ・15 分から朝学活まで

3. 実施回数 （1の質問で「実施している」に回答した場合）

毎日	週 4 日	週 3 日
62.5%	23.6%	7%

その他 ・週 2 日

・指定された月間

・数えていない

・朝会がない日は毎日

・毎日実施しているが、定期考査一週間前は「朝学習」となるため朝読書に取り組んでいない。

4. 感想文について （1の質問で「実施している」に回答した場合）

書いている ⇒ 11%

書いていない ⇒ 86.3%

その他 ・作文形式ではなく感想ワークシートで感想を書いている。

5. 読書時の先生の状況 （1の質問で「実施している」に回答した場合）

一緒に読書している ⇒ 19.2%

読書していないが教室にいる ⇒ 58.9%

職員室にいる ⇒ 13.7%

その他（一部を抜粋）

・職員会議をしている。

・一緒に読書している先生もいれば、事務作業をしている先生もいる。

・日ごとに違う。

6. 実施にあたり工夫または注意している点（記述式回答）

主な回答（記述式回答のため一部を抜粋）

- ・教員は打合せをしているが、学校生活支援員が見守りをしている。
- ・静かに集中できる環境をつくる。
- ・図書委員による呼び掛け。
- ・朝読書は、自習時間ではないので、鉛筆をもたない。静かに読む。タブレット P Cからの読書は禁止。という注意点を生徒たちに伝えている
- ・ビブリオバトルと朝読書を絡めながら行えるように工夫している。
- ・声をかけることをせず、生徒が自主的に読書を始め、落ち着いた状態で読書できるような環境をつくっている。
- ・生徒が読んでいる本について質問する等、話題の 1 つにしている。
- ・図書館司書の先生がおすすめ本コーナーをつくってくれたり、図書委員が教卓の前に座って朝読書を促したりしてくれている。
- ・一緒に読んで、静かに落ち着いて読書をする習慣をつけさせる
- ・選べない生徒への配慮。
- ・保護者面談時に様子を伝え、家庭と一緒に取り組む。
- ・忘れた生徒が読めるように学級文庫を用意している。

7. 実施していない理由（1 の質問で「実施している」に回答した場合）

時間がない ⇒ 38.5%

必要性を感じない ⇒ 30.8%

学校図書館の蔵書数が少ない ⇒ 7.7%

その他（一部を抜粋）

- ・朝学習の時間に設定しており、読書している生徒もいるが、学習に充てている生徒もいるので強制はしていない。
- ・本がない。
- ・興味がない。

8. 学級文庫について

ある ⇒ 72.1%

ない ⇒ 27.9%

9. 学校図書館の活用状況について（複数回答可）

授業、朝読書で学校図書館を活用している（場所の利用） ⇒ 19.4%

授業、朝読書で学校図書館の資料を活用している ⇒ 41.9%

自主学習等において積極的な利用の指導をしている ⇒ 35.5%

その他（一部を抜粋）

- ・利用していない。
- ・昼休みに開放し、個人貸出をしている。

- ・ 昼休みの開館時の利用を推進しているが、あまり盛んでない。
- ・ 暇なときに読んでいる。
- ・ 授業、朝読書で学校図書館の資料を活用している，昼休みの開館。放課後は部室として使用しているため利用できない状況である。
- ・ 学期に 1 回程度の利用 区の図書館を利用することが多い

10. 朝読書は「板橋区子ども読書推進計画 2025」において、区立小・中学校全校、全学、全クラスで実施することとなっています。朝読書を実施するための工夫、アイデアがありましたら、ご記入ください。

主な回答（記述式回答のため一部を抜粋）

- ・ 自分に合う本に出会うことをサポートするアプリの開発、導入
- ・ 家庭での読書や朝読書が有効であることを示したリーフレットを作成・配布する。
- ・ 図書委員などの活用、よびかけ、図書便り、読書コンテスト、ビブリオバトルの実施等
- ・ 朝読書は好きな本をただ読むということだけなので、効果的に行うための工夫もなにもない。「時間を定め、静かに読む」ことにつきる。強いて言えば教員も学活中読む事が大事だが、健康管理などの巡回も必要なので、生徒指導が必要なければ、読むことが可能だが、本校では、教員も一緒に読むということは現実的ではない。
- ・ 生徒は、読書感想文は書きたがらないが、オスズのポップなど文と絵で表現できるものなら書いていた。
- ・ 学年を巻き込んできちんと朝読書できているかイベントなどを行う。
- ・ 生徒に、朝読書におすすめの本をプレゼンテーションしてもらうという取組を行ったことがあります。生徒が興味をもつ本は、生徒がよく知っていると思います。
- ・ 読書記録は日誌などに書くよう指導していても良いかもしれない。負担にならない方法で達成感を。
- ・ 朝読書廃止→探究活動の時間にする。読書させることが目的となってしまっている。読書は何か(自分の好きなこと)を調べるための手段にする方が活字を読もうとするのでは？
- ・ 図書委員の活動に朝読書に効果的なことを取り入れると、効果的な気がしました。
- ・ 先生と一緒に読むと、学級全体が読む雰囲気になる
- ・ 朝読書の重要さをもっと広めてほしい。
- ・ 学習障害がある生徒や支援学級の生徒にとっては本を読むことに多大なストレスを与えることにもなり得るので、本に親しむにはという視点で考える必用がある。例えば一人一台端末を所有してなるべく使用せよ、という指導計画があるのだから、電子図書を利用できるようにするなど読む手段へのアプローチをしてみたらどうかと思う。
- ・ 教育委員会に働きかけ、モジュール学習での読書を国語として時数カウントできるように積極的に働きかける。
- ・ 校内全員で取り組めるよう、時間割等を含めた体制作りが一番重要だと考えます。
- ・ 読んだページ数で進む双六やワークシートの導入。
- ・ 平日の朝に読書タイムという強制的なタイムをとる。

11. その他、朝読書についてのご意見がある場合は以下にご記入ください。

主な回答（記述式回答のため一部を抜粋）

- ・朝読書は、とても教育的効果が高いと考えているので、賛成です。
- ・本が好きじゃない子、嫌々朝読書をしている子が多く見られます。江戸川区の取組等を参考にしてみてもどうでしょうか？江戸川で勤務していた時は板橋よりは本に興味を持ち積極的に読書をする生徒が多くいました。
- ・学校司書の勤務体制を整えてほしい。週一は少ない。また、読書教育充実させるため司書教諭の持ち時間軽減を希望する。
- ・連絡事項などが多い高学年になるほど時間の確保が難しい。また教職員の意識にも差があるように感じる。
- ・読解力の面では必要かも知れませんが、正直、そこまで重要だとは思っていません。
- ・読解力の低い生徒に読書をさせることは苦痛です。読解力アップの教材・ドリルをさせた方がよいと思うことが多々あります。
- ・なぜ朝読書なのか、朝学ではだめなのか、改めて周知する機会をつくる。
- ・読書の目的は感想を求めることではないと思うので、テーマを決めたり、図書室図書館での本の探し方を学んだり、どんな本があるのか知ることなど根本的なことから取り組む必要があると思う。多くの生徒は本来の本の利用の仕方を知らないと思う。思った以上に興味がわく本がある、というところまで行き着けば朝読書の時間が充実してくると思う。